

事業計画書

2025 年度(令和 7 年度)

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

社会福祉法人大原野児童福祉会
大原野こども園

1. 基本方針

幼保連携型認定こども園教育、保育要領を基に計画を立て実施する。新型コロナウイルスを含む各種感染拡大防止策として子どもたちには手洗いの指導・消毒の徹底、職員は園内の清掃及び消毒を徹底し、園内の衛生管理に努める。また園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせマニュアルを更新していく。事業運営の中で、重要性の高いものから段階的に取り組み、無理なくレベルアップを目指す。職員は、スキルアップのためキャリアアップ研修を受講し各分野の学びを深め、専門性を高めていく。また、地域ニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。また、京都市外の向日市や長岡京市等からも園児が通うため、各行政区の担当とも情報共有できる体制を整える。あわせて、令和 6 年度に引き続き、国・京都市で進める誰でも通園、京都府が進める親子誰でも通園制度の実施を行う。

保護者専用アプリコネクトを導入して、電子連絡帳などの運用を進める。

2. 保育目標

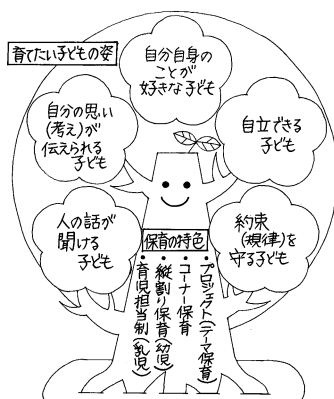
- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い（考え）が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束（規律）を守る子ども

3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが 20 歳になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。



きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

保育の特色

（育児担当制：乳児）

乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担任が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担任が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。

（縦割り保育：幼児）

3・4・5歳の異年齢の子どもたちが、同じ保育室で生活や遊びをしながら共に過ごしています。

（コーナー保育）

いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組む自主性を育てています。

4. 保育活動

① 保育園の運営

・所在地：京都市西京区大原野上羽町 318

・大原野こども園 児童数（利用定員：135名 令和7年4月1日）

【2・3号】0歳児：5名、1歳児 22名、2歳児 19名、

3歳児 16名、4歳児 15名、5歳児 23名

【1号】 3歳児 5名、4歳児 8名、5歳児 3名

在園計 116名

② 開所時間

短時間保育時間：8時30分～16時30分

標準保育時間： 7時～18時

延長保育： 18時～19時

③ 職員配置

園長 1名、副園長 1名、主幹保育教諭 2名、指導保育教諭 1名、保育教諭 20名、

保育士 4名、保育者 8名、看護師 1名、管理栄養士 1名、調理員 3名、事務員 1名、

運転手 1名 計 44名

5. 保育内容

コロナ・インフルエンザ等の感染拡大防止のため、引き続き感染予防の取り組みを継続する。

保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児はピラミッドメソッド幼児教育法を取り入れた活動を充実させる。保育計画について、年間・月間・日案・個別・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において、経過観察と必要に応じて、補正・調整を行い、子どもたちの実情にあった保育活動を計画的に実施する。そのためにも、引き続き教材準備や保育計画を立てるための時間（ノンコンタクトタイム）を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。

6. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。幼稚園免許の取得と更新を計画的に進めていきます。

7. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

8. 一時保育事業・誰でも通園事業

- ・一時預かり事業…1日最大7名のお子様をお預かりします。
- ・誰でも通園事業…1日最大5名のお子様をお預かりします。

9. 子育て支援事業

園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

10. ホームページ

ホームページを通じて子どもたちの写真や動画配信を提供、メール配信により京都府警や京都市からののお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。また、園だより・クラスだより・お知らせ類を配布せず、ホームページ上の保護者ページより見ていただく。

<https://kodomoen.ooharano.com/>

11. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

12. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんげんに子育てができるよう活動する。また、小学校、児童館、高齢者施設等との交流を

図る。地域の園や児童館との交流を図るため、キッズやまのもと・基幹ステーションなど広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

13. 保健衛生

- ・乳児健康診断…年2回　・幼児健康診断…年2回　身体測定年12回
- ・歯科検診…2歳児以上年1回
- ・眼科検診…3歳以上年1回
- ・職員健康診断年1回（付加検診の奨励と、費用負担）
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回
- ・調理検便年12回　職員検便年1回

14. 防災安全

- ・避難訓練年12回　・消火訓練年12回
- ・不審者、洪水、水害、土砂災害訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検　・自主点検　・非常用飲料水、食糧の確保、点検

15. 給食

- ・0～5歳児　昼食、おやつ
- ・離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

16. 年間行事

- ・別紙参照（年間行事予定表）

17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主観保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・チーフ：乳児・幼児・キッチンの各クラス内の調整、園行事の運営補助
- ・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度　・幼児、乳児会議：月1回程度　・食育会議：月1回程度
- ・チーフ会議、行事担当会議、担当係会議など
- ・保護者会、保護者説明会、個人懇談、家庭訪問（新入園児のみ）・保育参加
- ・法人理事会・法人園長会、主任会、キッチン
- ・南区園長会、主任会

19. 職員育成

- ・京都市保育士会 ・南区保育内容研究会 ・京都市主催の研修
- ・外部の講師による研修 ・キャリアアップ ・その他必要に応じ外部研修に参加

20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入 ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保 ・園の周りの植栽整備 ・園舎の定期清掃、美化

22. 資金計画

- ・2025 年度予算書参照。

令和7年度 行事予定

4月	新入園児歓迎 4/17(木) 創立記念日 4/22(火) ※通常保育 ■さくら交流会 4/15(火)午後 15:30~16:30	
5月	ルカボンコンサート 5/22(木)	
6月	内科検診・眼科検診 さくらプラネタリウム見学 6/25(水) ■運動会 6/7(土) 雨天予備日 6/8(日)	■ばら交流会 6/23(月)13:30~14:30 ■たんぽぽ交流会 6/27(金) 13:30~14:30 ※交流会ではおやつを試食があります。
7月	プール開き(8月末まで) さくらお楽しみ保育 7/5(土)	■にじ1交流会 7/9(水)13:30~14:30 ■にじ2交流会 7/11(金)13:30~14:30 ■にじ3交流会 7/15(火) 13:30~14:30
8月	お盆保育(家庭保育協力日:お弁当) 8/14(木)~8/16(土) お祭りごっこ 8/28(木)	
9月	消防車見学 さくら敬老交流会	■つくし交流会 9/12(金) 13:30~14:30 ■さくら就学前個人懇談 10/1(水)から
10月	ゆり遠足(お弁当) もも遠足(お弁当) さくらサッカー遠足(お弁当) 10/20(月)	ポニー移動動物園 10/23(木) 内科検診・歯科検診
11月	■さくらフェスタ大原野 11/9(日) さくら SL 鉄道博物館遠足(お弁当)	

12月	■ さくらサッカー大会 12/2(火)または3(水) ■ 音楽発表会 12/13(土) クリスマス会 12/25(木) お正月休み 12/28(日)~1/3(土)	
1月	おもちつきごっこ ■ 0歳児説明会 1/19(月)15:30~16:30 ■ 1歳児説明会 1/20(火)15:30~16:30	■ ばら説明会 1/21(水)15:30~16:30 ■ ゆり説明会 1/23(金)15:30~16:30 ■ もも説明会 1/26(月)15:30~16:30
2月	豆まきごっこ 2/3(火) さくらお別れ遠足(お弁当)	
3月	にじ1・2・3 遠足(お弁当) お招き会 3/7(土)※新入園児対象の説明会 お別れ会 3/13(金) さくら卒園式 3/14(土)	春期保育(家庭保育協力日:お弁当) 令和8年4/1(水)~4/3(金) ■ で表記してるものは保護者参加行事 日程が空白のものは園だよりでご案内します
	● 毎月1回、避難訓練を行っています。(1Fランチルーム入口付近にAEDを設置) ● 毎月、定期的にサッカー教室・英語教室・運動あそびを保育内で取り組んでいます。 ● 参観ライブ配信を行っています。日程は毎月の園だよりでご案内をいたします。 ● 予定は変更となることもあります。その際は園だよりでお知らせをします。 ● 保育の様子を知ってもらうため保護者がお子様と一緒に保育室で過ごしてもらう「保育参加」を行っています。日程予約などの詳細は園だよりでお知らせします。	

事業計画書

2025 年度(令和 7 年度)

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

社会福祉法人大原野児童福祉会
山ノ本こども園

1. 基本方針

幼保連携型認定こども園教育、保育要領を基に計画を立て実施する。

子どもたちには手洗いの指導・消毒の徹底、職員は園内の清掃及び消毒を徹底し、園内の衛生管理に努める。また園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせマニュアルを更新していく。事業運営の中で、重要性の高いものから段階的に取り組み、無理なくレベルアップを目指す。職員は、スキルアップのためキャリアアップ研修を受講し各分野の学びを深め、専門性を高めていく。

若年層や低階層世帯が多い地域であるため、ニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。また、南区だけでなく、伏見区、西京区からも園児が通うため、各区の担当とも情報共有できる体制を整える。

2. 保育目標

- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い（考え）が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束（規律）を守る子ども

3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが大人になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。



きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

保育の特色

（育児担当制：乳児）

乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担任が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担任が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。

（縦割り保育：幼児）

3・4・5歳の異年齢の子どもたちが、同じ保育室で生活や遊びをしながら共に過ごしています。

（コーナー保育）

いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組む自主性を育てています。

4. 保育活動

① 保育園の運営

・所在地：京都市南区上鳥羽山ノ本町 331

・山ノ本こども園 児童数（定員：75名 令和7年4月1日）

【2・3号】0歳児：3名、1歳児 13名、2歳児 12名、3歳児 11名、
4歳児 10名、5歳児 6名

【1号】 15名

計 71名

② 開所時間

短時間保育時間：8時30分～16時30分 9時～17時

標準保育時間： 7時～18時

延長保育： 18時～19時00分

③ 職員配置

園長 1名、副園長 1名、主観保育教諭 2名、指導保育教諭 1名、保育教諭 14名

保育士 2名、看護師 1名、栄養士 1名、調理員 2名、 計 25名

5. 保育内容

教材準備や保育計画の検討の時間を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制、幼児はピラミッドメソッド幼児教育法を取り入れた活動を充実させる。保育計画について、年間・月間・日案・個別・デイリープログラムなどを作成し、各種会議において、経過観察と必要に応じて、補正・調整を行い、子どもたちの実情にあった保育活動を計画的に実施する。そのためにも、引き続き教材準備や保育計画を立てるための時間（ノーコンタクトタイム）、クラスの職員が連携できるように話し合いの時間を確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。

6. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。

職員で、園内研修のテーマを決め学びを深めていく。

7. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

8. 一時保育事業

1日1～3名のお子様をお預かりします。

9. 子ども誰でも通園事業

定員3名のお子様をお預かりします。

10. 子育て支援事業

園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

11. ホームページ

ホームページを通じて子どもたちの写真や動画配信を提供、メール配信により京都府警や京都市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。また、園だより・クラスだより・お知らせ類を配布せず、ホームページ上の保護者ページより見ていただく。

<https://yamanomoto.ooharano.com/>

12. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

13. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加・親子一緒やDAY

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

昨年度より取り組んでいる、土曜日に在園児の親子で一緒に遊ぶ、親子でDAYも内容を検討し取り組んでいく。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんぜんに子育てができるよう活動する。また、小学校、児童館等との交流を図る。地域の園や児童館との交流を図るため、キッズやまのもと・基幹ステーションなど広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

14. 保健衛生

- ・0. 1 歳児健康診断…年4回 ・2 歳児・幼児健康診断…年2回 身体測定年 12 回
- ・耳鼻科、眼科検診、視力検査、尿検査…幼児のみ年1回
- ・歯科検診…2 歳児以上年1回
- ・職員健康診断年1回（付加検診の奨励と、費用負担）
- ・職員インフルエンザ予防接種年1回
- ・調理検便年 12 回 職員検便年 1 回

15. 防災安全

- ・避難訓練年 12 回 ・消火訓練年 12 回
- ・不審者、洪水、水害、土砂災害訓練…年1回
- ・防火設備等の保守点検 ・自主点検 ・非常用飲料水、食糧の確保、点検

16. 給食

- ・0～5 歳児 昼食、おやつ ・離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

17. 年間行事

- ・別紙参照（年間行事予定表）

18. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主観保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・指導保育教諭：園行事の運営、現場の統括
- ・リーダー：乳児・幼児・キッチンの各クラス内の調整、園行事の運営補助
- ・保育教諭：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

19. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度 ・管理者会議：月1回 ・幼児、乳児会議：月1回程度
- ・食育会議：月1回程度 ・管理者会議、行事担当会議、担当係会議など
- ・個人懇談 ・保育参加 ・法人理事会 ・法人園長会、法人キッチン、法人管理者
- ・看護師部会年3回程度 ・南区園長会、主任会

20. 職員育成

- ・京都市保育士会 ・南区保育内容研究会 ・京都市主催の研修
- ・外部の講師による研修 ・キャリアアップ ・その他必要に応じ外部研修に参加

21. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入 ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

22. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保 ・園の周りの植栽整備 ・園舎の定期清掃、美化

23. 資金計画

- ・2025 年度予算書参照。

令和7年度年間行事予定

4月	11日（金）	幼児クラス懇談会	12月	9日（火）	プレ生活発表会2回目
	18日（金）	もも組（2歳）クラス懇談会		13日（土）	生活発表会
	25日（金）	たんぽぽ組（1歳）クラス懇談会		25日（木）	クリスマス会
5月	2日（金）	こどもの日のつどい	1月	9日（金）	新春のつどい
	2日（金）	つぼみ組（0歳）クラス懇談会		30日（金）	つぼみ組（0歳）クラス懇談会
6月	4日（水）	歯磨き指導	2月	3日（火）	節分のつどい
7月	1日（火）	プールびらき		6日（金）	たんぽぽ組（1歳）クラス懇談会
	7日（月）	七夕のつどい		14日（土）	作品展
8月	26日（火）	プールじまい		20日（金）	もも組（2歳）クラス懇談会
	29日（金）	夏まつりごっこ		27日（金）	幼児クラス懇談会 （にじ組・ほし組・つき組）
9月	上旬	消防車見学	3月	3日（火）	ひなまつりのつどい
10月	7日（火）	プレ運動会1回目		7日（土）	新入園児説明会
	14日（火）	プレ運動会2回目		13日（金）	お別れ会
	18日（土）	運動会 予備日…23日（木）		17日（火）	修了式総練習
11月	5日（水）	乳児遠足		21日（土）	修了式
	26日（水）	プレ生活発表会1回目		30日（月）	新年度準備期間
				31日（火）	新年度準備期間
※幼児・乳児の保育参加については、5月より園児1人につき年1回保育参加を行います。			※修了式記念写真撮影は2月頃の予定です。（年長児のみ）		
※個人懇談…8カ月、1.6カ月。3歳児後期、就学前の各健診前に行います。 就学前の個人懇談の期間は、9/1（月）～9/12（金）の予定です。			※乳児健康診断…0.1歳 年4回		
※避難訓練…毎月実施			※もも組（2歳）・幼児健康診断…5月・11月		
※クッキングは、保育内で行います。			※耳鼻科・眼科検診…幼児のみ年1回		
※幼児秋の遠足は、決まり次第お伝えします。			※歯科検診…年1回2歳以上		
※シェイクアウト訓練の日に、避難訓練と災害食を体験します。			※尿検査…年1回		
			※視力検査…幼児のみ年1回		
			※お別れ遠足（年長のみ3月頃）		

事業計画書

2025 年度(令和 7 年度)

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

社会福祉法人大原野児童福祉会 もずめこども園

1. 基本方針

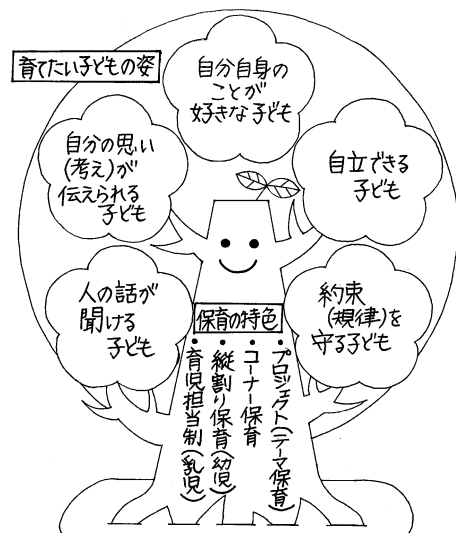
清潔を保ち健康に過ごすため、子ども達には手洗い・うがい(幼児)の指導を引き続き丁寧に行う。職員は園内の清掃及び消毒を徹底し衛生管理に努める。また園内外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、ヒヤリハットをもとに、社会の状況にも合わせながらマニュアルを更新していく。

令和 5.6 年度に各クラスで実践発表を行った事で保育内容についてより具体的に話し合うきっかけとなった事から、令和 7 年度は各職員が学びたい事を目標にあげ、園内研修・外部研修にて専門性を高めることでスキルアップしていくと共に、各々が責任をもってやるべきことを確実にやっていく。

向日市の待機児童が 0 となり、人口増加が一旦落ち着いたと市より報告を受けている。新入園児確保に向け、園見学の対応及び未就園児がいる家庭に向けて一時保育や子育て支援に力を入れる他、地域のニーズに応じた関わりを引き続き行い、より良い子育ての環境づくりに努める。

2. 保育目標

- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い(考え)が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束(規律)を守る子ども



3. 保育方針

「真っ白な子どもたちが 20 歳になった時、
どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、
どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を
保育の中で大切にしています。

きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

4. 保育の特色

- ① 育児担当制（乳児）…乳児クラスでは担当制を導入しています。一人の担任が数名の子どもを1年間担当し、一人ひとりの子どもと丁寧に関わるように取り組んでいます。お子様の生活パターンや月齢などを配慮して担当グループを分けますが、それぞれの担任が担当以外の子どもを見ないわけではありません。より深く担当の子どもの気持ちを理解したうえで、連携を取りながら良い保育環境に導きます。この取り組みにより、お子様との信頼関係がぐっと深いものになります。
- ② コーナー保育…いくつかの遊びをコーナーごとに設け自己選択・自己決定をしながら遊びたい活動に取り組む自主性を育てています。
- ③ リズム…『心と身体的主人公』になるために全身運動の保障・豊かな感覚を育むために楽しく動くことを大切に、発達年齢に合ったリズム遊びに取り組めます。

5. 保育活動

① 保育園の運営

・所在地：京都府向日市物集女町南条 65

・もずめこども園 児童数（定員：155 名）

【2・3号】0 歳児：12 名、1 歳児 24 名、2 歳児 24 名、
3 歳児 30 名、4 歳児 30 名、5 歳児 30 名

【1 号】 5 名

計 155 名

② 開園時間

短時間保育時間：8:00～16:00

標準保育時間：7:00～18:00

延長保育：18:00～20:00(令和4年度新入園児より 18:00～19:00)

③ 職員配置

園長 1 名、副園長 1 名、主幹保育教諭 2 名、指導保育教諭 1 名、保育教諭 23 名(内 1 名産休取得予定・1 名産休取得中)、保育士 2 名、保育者 5 名、栄養士 2 名、調理員 3 名、看護師 1 名

計 41 名

6. 保育内容・保育環境

今年度は幼児クラスを中心にテーマのある保育に園全体で取り組んでいく。

園庭を含めた保育環境作りに力を入れ、心地よい環境の中で子どもたちの想像力を育てていきたい。

保育活動全般に関して、乳児はゆるやかな育児担当制にて生活を大切に育てていき、幼児クラスにおいても教育の土台は養護の上に自主性を育てていく。園児数は増えても集団で動かすようなことが無いように丁寧な保育を心掛ける。

保育計画について新しい様式を使用し、年間・月間・週案・日案・個別月案・デイリープログラムなどを作成したが概ね子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実施することができた。引き続き教材準備や保育計画を立てるためのノンコンタクトタイムを確保し、豊かな保育活動に繋がるよう努めていく。

7. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法 講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。幼稚園免許の取得と更新を計画的に進めていきます。

8. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

9. 一時保育事業

1日3～5名のお子様をお預かりします。

10. 子育て支援事業

年間24回程度、木曜日にわくわくランドを実施。もずめクラブを保育室として使用する他、園庭開放や各種イベントを通じて、地域の未就園の親子に参加していただきます。

11. ホームページ

ホームページを通じて園での様子を広報する。子ども達の写真や季節や文化を感じられるような取り組みの紹介及び情報提供。

メール配信により京都府警や向日市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。

<https://mozume.ooharano.com/>

ブログを通して広く保育内容を知っていただけるように努める。

12. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 個人懇談・クラス懇談・保育参加

子育ての悩みを共有化し、クラス運営の内容を伝え理解してもらえる場として設けている。また、保育参加では保護者に日々の活動を少しでも理解していただけるよう実施している。

③ 外部機関との運営

発達支援や育児不安などにより、専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

④ 地域支援活動

未就園児、提携小規模園、小学校、学童保育・高齢者との交流事業に取り組み、地域全体であんしん・あんげんに子育てができるよう活動する。

わくわくランドを地域の方に知ってもらうため広報活動を充実し、地域支援の積極的活動を行う。

13. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

14. 保健衛生

- ・身体測定…年 12 回
- ・内科検診…年 2 回(5 月・11 月)
- ・眼科検診…年 2 回(6 月)
- ・視力検査…幼児のみ年 1 回(9 月)
- ・尿検査…年 2 回(6 月・12 月)
- ・歯科検診…年 2 回(6 月・11 月)
- ・職員健康診断…年 1 回(付加検診の奨励と、費用負担)
- ・職員インフルエンザ予防接種年 1 回
- ・調理検便年 12 回
- ・職員検便年 1 回

15. 防災安全

- ・避難訓練年 12 回 ・消火訓練年 12 回 ・2 向小との合同訓練年 1 回
- ・不審者、洪水、土砂災害・午睡明け訓練…年 1 回
- ・防火設備等の保守点検 ・自主点検 ・非常用飲料水、食糧の確保、点検

16. 給食

- ・0～5 歳児 昼食、おやつ、離乳食、アレルギー食
- ・食育活動（クッキング、栽培、マナーなど）

17. 園の組織

- ・園長：園経営と園運営の責任と保育活動における総括指揮
- ・副園長：保護者支援、地域支援活動の運営、園行事の運営
- ・主幹保育教諭：保護者支援、園行事の運営、各クラスの全体調整
- ・指導保育教諭：乳児・幼児・キッチン各クラス内の調整、保育内容の確認
- ・保育教諭・保育士：クラス別担任制配置、行事担当、発達記録等の作成

18. 年間会議予定

- ・職員会議：月2回程度
- ・幼児会議、乳児会議：月1回程度
- ・プロジェクト会議：月1回程度
- ・各クラス会議：月1回程度
- ・キッチン会議：月1回程度
- ・リスクマネジメント委員会：2か月に1回程度
- ・幼児会議、乳児会議、クラス会議、行事担当会議、担当係会議など：必要に応じて適宜
- ・入園説明会、個人懇談、
- ・保育参加
- ・法人理事会
- ・法人園長会
- ・就学前児部会
- ・看護師部会
- ・障害児部会
- ・向日市園長会

19. 職員育成

- ・京都府主催の研修
- ・外部の講師による研修
- ・キャリアアップ
- ・その他必要に応じ外部研修に参加

20. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入・職員処遇改善費の支給

21. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化
- ・駐車場のアスファルト舗装工事

22. 資金計画

- ・2025 年度予算書参照。

23. 年間行事

月	行事予定		保健関係	
4月	11(金)	入園進級お祝いの会		
	16(水)	お誕生日会		
5月	2(金)	こどもの日の集い	未定	内科検診13:30-(大藪大枝クリニック)
	14(水)	お誕生日会		
	19(月)	【※】こぐま組クラス懇談会(午後)		
	21(水)	【※】きりん組クラス懇談会(午後)		
	23(金)	【※】らいおん組クラス懇談会(午後)		
	未定	らいおん組芋の苗植え遠足		
6月	2(月)	温水シャワー開始	2(月)3(火)	尿検査
	4(水)	【※】ひよこ組クラス懇談会(午後)	未定	歯科検診13:00-(小笹歯科医院)
	5(木)	【※】りす組クラス懇談会(午後)	未定	眼科検診9:30-(丸尾眼科医院)
	6(金)	【※】うさぎ組クラス懇談会(午後)	未定	幼児クラス歯磨き指導
	11(水)	お誕生日会		
	未定	らいおん組天文館ープラネタリウムー		
7月	2(水)	お誕生日会		
	7(金)	七夕の集い		
	8(火)	プール開き		
	未定	らいおん組平和の折り鶴 贈呈式		
8月	14(木)・15(金)・16(土)	お盆保育:申し込み制・お弁当持参 ※1号認定児休園		
	20(水)	お誕生日会		
	22(金)	プールじまい		
	27(水)	夏まつりごっこ		
	28(木)	夏まつりごっこ		
	29(金)	夏まつりごっこ		
9月	10(水)	お誕生日会	5(金)	らいおん視力検査
	未定	交通安全教室		
10月	6(月)	お月見会		
	15(水)	お誕生日会		
	11(土)	【※】こぐま組・きりん組・らいおん組運動会		
	17(金)	消防車見学(避難訓練)		
	27(月)	らいおん組芋ほりバス遠足 雨天延期日:10/30(木)		
	28(火)	こぐまバス組遠足		
	29(水)	きりん組バス遠足		
	未定	クレーン車見学		
11月	順次	【※】個人懇談		
	12(水)	お誕生日会	26(水)	幼児全クラス手洗い教室
12月			未定	内科検診13:30-(大藪大枝クリニック)
	11(木)	お誕生日会	1(月)2(火)	尿検査
	24(水)	クリスマス会	未定	歯科検診13:00-(小笹歯科医院)
	26(金)	おもちゃつき		
1月	27(土)	年末保育:申し込み制・お弁当持参 ※1号認定児休園		
	14(水)	お誕生日会		
	27(火)	【※】うさぎ組リズム参観・クラス懇談会(午前中)		
	28(水)	【※】こぐま組リズム参観・クラス懇談会(午前中)		
	29(木)	【※】きりん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)		
	30(金)	【※】らいおん組リズム参観・クラス懇談会(午前中)		
	未定	らいおん組演劇鑑賞		
2月	3(火)	節分の集い	18(水)	きりん組視力検査
	4(水)	お誕生日会	19(木)	こぐま組視力検査
	9(月)	予備日【※】うさぎ組リズム参観(午前中)		
	10(火)	予備日【※】こぐま組リズム参観(午前中)		
	12(木)	予備日【※】きりん組リズム参観(午前中)		
	13(金)	予備日【※】らいおん組リズム参観(午前中)		
	24(火)	【※】ひよこ組クラス懇談会(午後)		
	25(水)	【※】りす組クラス懇談会(午後)		
3月	未定	らいおん組就学前児童交通安全教室		
	3(火)	ひな祭りの集い		
	4(水)	お誕生日会		
	7(土)	お招き会(入園説明会)【家庭保育協力日】		
	11(水)	こぐま組遠足		
	13(金)	きりん組遠足		
	17(火)	らいおん組バス遠足		
	18(水)	お別れ会		
	21(土)	【※】らいおん組卒園式 ◎保育環境変更日【家庭保育協力日】		
	23(月)	保育室引っ越し(この日より1学年上のクラスの保育室で過ごします)		

- 年度当初の予定の為、日程などが変更になる可能性がありますのでご了承ください。
- 保護者参加行事には【※】印が付いています。
- 6月～12月保護者の「保育参加」を行います。詳細は園だよりでお知らせいたします。
- 毎月、身体測定・避難訓練を行います。
- ※玄関付近に AED を設置しています。
- 諸検査はお子様の健康管理のために、必ず受けてください。
- 定期的に職員研修を行っています。
- 1歳9か月健診・3歳6か月健診前には個人懇談を実施します。

事業計画書

2025 年度(令和 7 年度)

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

社会福祉法人大原野児童福祉会

もずめクラブ(学童保育)

1. 基本方針

交通について学び、安全に下校する。

家庭的な雰囲気の中、児童の自主性を尊重し、自分で考えて自分で決められながら生活できる環境で放課後を中心に生活する。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策だけでなく様々な感染症を防止するために、児童には手洗い・うがいの指導を引き続き丁寧に行い、健康管理を徹底する。職員は園内の清掃及び消毒を徹底し衛生管理に努める。

園外活動においても安全面を第一に考え、事故や怪我を防ぐため、社会の状況に合わせマニュアルを更新していく。

園内研修で全職員が同じ研修を受けることで職員が同じ方向に向かって保育を行い、外部研修にて各職員が様々な分野の学びを深め、専門性を高めることでスキルアップしていく。

2. 活動

① 児童定員数：40名（令和7年4月1日時点 37名）

② 職員配置：支援員2名、補助2名、運転手1名 計5名

③ 開園時間

休校日保育時間：8時00分～18時00分

延長保育時間 ：18時00分～19時00分

3. 保育目標

- ① 自分自身のことが好きな子ども
- ② 自分の思い（考え）が伝えられる子ども
- ③ 人の話が聞ける子ども
- ④ 自立できる子ども
- ⑤ 約束（規律）を守る子ども

4. 保育方針

「真っ白な子どもたちが大人になった時、どんな大人になって欲しいのか？」

「子どもたちがより良い人生を送る為には、どのような働きかけが必要なのか？」

と考えた時、私たちはこのような事を保育の中で大切にしています。

きれいな花を咲かせようとするならば、それを可能とする根をはらなければなりません。

保育の特色の根源をしっかりと、一人ひとりの花をきれいに育てたいと思います。

5. 特色

- ① 学校の延長のような集団の場ではなく、あくまでも家に帰ってから過ごしているような家庭的な環境
- ② 学校休業日の給食の提供および、手作りおやつを提供。
- ③ プログラムの実施
通常プログラム（1～3年生）には専任講師が指導します。プログラム表記はありませんが、パソコン・算数・国語はもずめクラブのテキスト（6年生まで）で、個別に取り組みます。

	プログラム	教材提供
月曜日	体育・運動プログラム①	リーベ運動遊び
水曜日	運動プログラム②	コスモスポーツクラブ
木曜日	英語プログラム	ECC

- ・上記の他、パソコン・算国学習プリントも用意していますが、自由時間を使って各自が自主的に取り組むスタイルとなります。
- ・各プログラムは、隔週毎に2グループに分けて取り組みます。
- ・土曜日と4年生以上のプログラムは、ありません。

6. 1日の流れ

平日の流れ

時間	活動内容
15:00	おやつ 宿題（自主学習） 自由あそび
16:00	隔週毎に、曜日ごとのプログラムと宿題（自主学習）・自由あそびの2グループに分かれて活動
17:00	自由あそび・順次帰宅
18:00	1時間延長開始 夕方のおやつ・自由あそび（もずめこども園で合同保育）
19:00	1時間延長帰宅

土曜日・小学校振替日及び長期休業日の流れ

時間	活動内容
8:00	順次登校（※ 9:30 までに登園） 自由あそび 宿題・自主学習 朝の活動
12:00	お昼ご飯 自由あそび （※ 夏季期間は午睡導入日もあり）
15:00	おやつ・自由あそび
16:00	隔週毎に、曜日ごとのプログラムと宿題（自主学習）・自由あそびの2グループに分かれて活動 ※ 土曜日のプログラムはありません
17:00	自由あそび・順次帰宅
18:00	順次帰宅 1時間延長開始 夕方のおやつ・自由あそび（もずめこども園で合同保育）
19:00	1時間延長帰宅

7. 年間行事

4 月	歓迎会
7 月	プール（長期休業期間：小学校夏休み期間）
8 月	プール（長期休業期間：小学校夏休み期間） お盆休業日(3 日間)
12 月	クリスマスパーティー 年末希望利用日（※ 8:00～18:00/お弁当持参） 年末年始休業日(5 日間)
3 月	遠足(お弁当持参) 次年度準備期間休業日(2 日間)

8. 利用時間・料金について

費用内容	金額	備考
基本料金（月額）	20,000 円	月～金曜（振替日を含む）、向日市立小学校の休校日を除く放課後～午後 6:00 までの利用
昼のおやつ代（月額）	1,500 円	手作りまたは市販のおやつを用意します。
長期休業期間利用（1 日）	500 円	春期・夏季・冬季休業日において、午前 8:00～午後 6:00 までの利用分。昼食代を含みます。
1 時間延長（月額）	2,500 円	18:00～19:00 まで利用する場合。夕方のおやつをご用意します。
1 時間延長（1 日）	250 円/30 分	18:00～19:00 まで利用する場合 30 分ごとに加算。夕方のおやつをご用意します。
土曜日の利用（1 日）	1,000 円	午前 8:00～午後 6:00 までの利用分。昼食代を含みます。
お迎え住路のみ（月額）	8,000 円	第 4 向陽小学校の 1～3 年生までの希望者には車でのお迎えを行います。

9. 年間行事

4 月	歓迎会
7 月	プール（長期休業期間：小学校夏休み期間）
8 月	プール（長期休業期間：小学校夏休み期間） お盆休業日(3 日間)
12 月	クリスマスパーティー 年末希望利用日（※ 8:00～18:00/お弁当持参） 年末年始休業日(5 日間)
3 月	遠足(お弁当持参) 次年度準備期間休業日(2 日間)

10. 年間会議予定

- ・職員会議：月 2 回程度
- ・もずめクラブ会議：月 1 回

11. 園内研修

ピラミッドメソッド幼児教育法 講師による園内研修を行い、保育の向上に努めます。
支援員資格の取得を計画的に進めていきます。

12. 園外研修

個人のスキル向上のため、積極的に園外研修を奨励していきます。キャリアパスに沿って新任・中堅・指導者研修を受講します。

13. ホームページ

ホームページを通じてもずめクラブでの様子を広報する。子ども達の写真や季節や文化を感じられるような取り組みの紹介及び情報提供。

メール配信により京都府警や向日市からのお知らせや感染症の予防連絡に役立てます。

<https://mozume.ooharano.com/>

14. 個人評価制度

職員の賞与支払い時に評価制度を利用して一部査定を行います。個々のやる気を引き出すための制度につなげていきたいと考えています。

15. 保護者支援

① 日常における支援

日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助する。また、匿名で要望内容等を連絡できるよう、玄関に意見箱を設置する。

② 家庭・学校との連携

学校・もずめクラブ・家庭での生活がブツ切れにならないように連携取り合い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助する。

16. 職員育成

- ・京都府主催の研修
- ・外部の講師による研修
- ・キャリアアップ研修
- ・その他必要に応じ外部研修に参加

17. 職員福利厚生

- ・福祉医療機構退職金共済加入
- ・京都府民間社会福祉施設職員共済会加入
- ・職員処遇改善費の支給

18. 施設設備計画

- ・防災設備、備品の確保
- ・園の周りの植栽整備
- ・園舎の定期清掃、美化

19. 資金計画※2025 年度予算書参照。